

# 週間漁海況情報 2025年第5号

令和7年2月4日発行

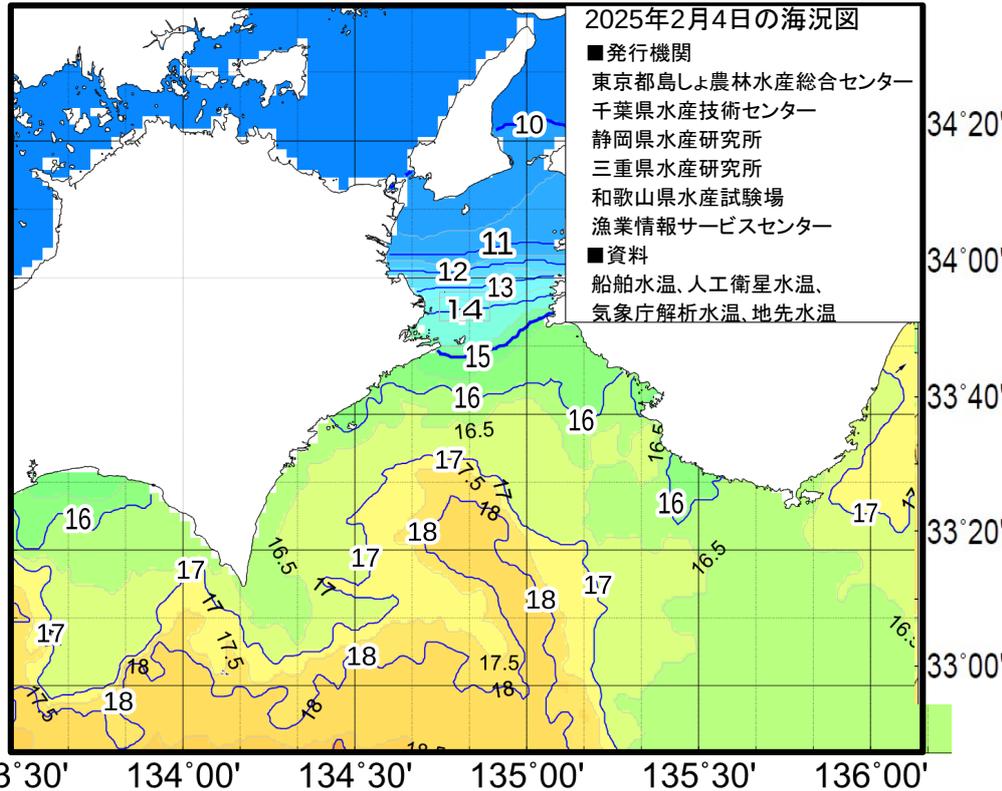
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖45マイル付近、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は19～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で9、紀伊水道で10～14、海部沿岸で15～16℃台となっている。

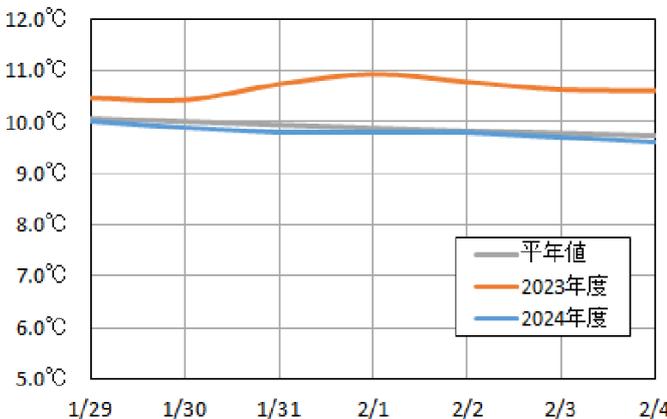


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)  
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~  
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~  
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。  
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

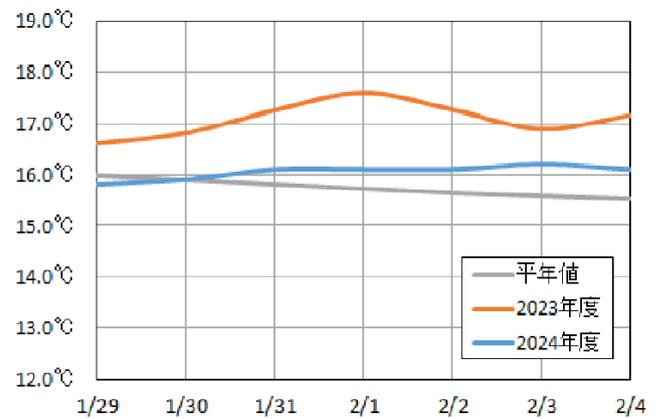
### 2. 地先水温(1月29日~2月4日)

鳴門地区の水温は、9.6~10.0℃で「平年並み」、浅川地区は、15.8~16.2℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、5.8~6.5℃だった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(2月5日~2月11日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

**漁況** (1月27日～2月2日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って5.3ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が増えて0.9ト、ブリが大きく減ってめじろ級主体に0.3ト、

サワラが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく減って2.4ト、えそ類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが増えて0.4ト、ボラが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが2.2ト、ボラが増えて大主体に0.4ト、ヒラメが0.3ト、

ブリが増えてつばす級主体に0.3ト、カワハギが大きく減って大主体に0.2ト、

マダイが大きく減って0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて0.3ト、タチウオが減って小小主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大主体に0.2ト、あまだい類が減って0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて0.7ト水揚げされた。

大型定置網では、メアジが大きく増えて0.9ト、ブリが0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	17	シラス	5,265	310		↘
	延縄	57	あまだい類	909	16		↗
		21	ブリ	286	14	めじろ級主体	↘↘
		17	サワラ	226	13	大主体	↘↘
	底びき網	24	シリヤケイカ	2,444	102		↘↘
		21	えそ類	219	10		↘↘
	建網	41	メジナ	352	9		↗
		8	ボラ	210	26	大主体	↗↗
	小型定置網	20	マアジ	2,228	111		→
		10	ボラ	433	43	大主体	↗
		18	ヒラメ	307	17		→
		9	ブリ	254	28	つばす級主体	↗
		19	カワハギ	223	12	大主体	↘↘
		14	マダイ	216	15		↘↘
海部沿岸	釣り	24	カツオ	319	13		↗↗
		5	タチウオ	277	55	小小主体	↘
	延縄	6	キダイ	222	37	大主体	→
		9	あまだい類	212	24		↘
	小型定置網	6	カタクチイワシ	669	111		↗
	大型定置網	6	メアジ	889	148		↗↗
6		ブリ	219	37		→	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘